

少年事件に関する書類の参考書式等について

平成18年9月14日家二第000949号
家庭裁判所長あて家庭局長、総務局長送付

変更 平成28年10月28日家一第272号
平成30年4月16日家一第38号
平成30年11月5日家一第197号
令和4年10月13日家一第222号
令和6年1月19日家一第6号

別紙記載の参考書式等を別添のとおり作成しましたので、送付します。

(別紙)

- 1-1 審判調書合議用
- 1-2 審判調書単独用
- 1-3 審判調書合議用記載例
- 1-4 審判調書単独用記載例
- 2-1 陳述録取調書合議用
- 2-2 陳述録取調書単独用
- 2-3 陳述録取調書合議用記載例
- 3-1 観護措置決定手続陳述録取調書
- 3-2 観護措置決定手続陳述録取調書記載例
- 4-1 告知調書合議用
- 4-2 告知調書単独用
- 4-3 告知調書合議用記載例
- 4-4 告知調書合議用（秘匿措置あり）
- 4-5 告知調書合議用（秘匿措置あり）記載例
- 5-1 意見聴取書合議用（期日外・裁判所聴取用）
- 5-2 意見聴取書単独用（期日外・裁判所聴取用）
- 5-3 意見聴取書合議用（期日外・裁判所聴取用）記載例
- 6-1 意見聴取書（家庭裁判所調査官聴取用）
- 6-2 意見聴取書（家庭裁判所調査官聴取用）記載例

- 7-1 同行状（緊急）
- 7-2 同行状（緊急）記載例
- 7-3 同行状（緊急）に代わるもの
- 7-4 同行状（緊急）に代わるもの記載例

(別紙番号1-1)

(審判調書合議用)

裁判長認印

平成 年(少)第 号

家庭裁判所

審判調書(第 回)

年 月 日 平成 年 月 日

場 所

裁判長裁判官

裁判官

裁判官

裁判所書記官

家庭裁判所調査官

少年

保護者

保護者

付 添 人

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号1-2)

(審判調書単独用)

裁判官認印

平成 年(少)第 号

家庭裁判所

審判調書(第 回)

年 月 日 平成 年 月 日

場 所

裁 判 官

裁 判 所 書 記 官

家庭裁判所調査官

少 年

保 護 者

保 護 者

付 添 人

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号1-3)

(審判調書合議用)

裁判長認印 ㊟

平成〇〇年(少)第〇〇〇〇号

〇〇家庭裁判所

審判調書(第1回)

年	月	日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
場		所	〇〇家庭裁判所
裁判長	裁判官		〇 〇 〇 〇
裁判官			〇 〇 〇 〇
裁判官			〇 〇 〇 〇
裁判所書記官			〇 〇 〇 〇
家庭裁判所調査官			〇 〇 〇 〇
少年			〇 〇 〇 〇 (出頭)
保護者(父)			〇 〇 〇 〇 (出頭)
保護者(母)			〇 〇 〇 〇 (不出頭)
付添人(弁護士)			〇 〇 〇 〇 (出頭)
出席者(保護司)			〇 〇 〇 〇
在席者(実姉)			〇 〇 〇 〇

人定質問

氏名	〇 〇 〇 〇
年齢	〇〇歳(平成〇〇年〇〇月〇〇日生)
職業	〇〇〇〇〇
住居	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
本籍	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(略)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

(別紙番号1-4)

(審判調書単独用)

裁判官認印 ㊟

平成〇〇年(少)第〇〇〇〇号

〇〇 家庭裁判所

審判調書(第1回)

年	月	日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
場		所	〇〇 家庭裁判所
裁	判	官	〇 〇 〇 〇
裁	判	所書記官	〇 〇 〇 〇
家	庭	裁判所調査官	〇 〇 〇 〇 (欠席)
少		年	〇 〇 〇 〇 (出頭)
保	護	者(父)	〇 〇 〇 〇 (出頭)
保	護	者(母)	〇 〇 〇 〇 (出頭)
付	添	人(弁護士)	〇 〇 〇 〇 (出頭)

人定質問

氏名	〇 〇 〇 〇
年齢	〇〇歳(平成〇〇年〇〇月〇〇日生)
職業	〇〇〇〇〇
住居	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
本籍	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(略)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

(別紙番号 2 - 1)

(陳述録取調書合議用)

裁判長認印

平成 年 (少) 第 号

家庭裁判所

陳 述 録 取 調 書

年 月 日 平成 年 月 日
場 所
裁 判 長 裁 判 官
裁 判 官
裁 判 官
裁 判 所 書 記 官
家 庭 裁 判 所 調 査 官
少 年
同 席 者
陳 述 者
氏 名
年 齡 歳 (平成 年 月 日生)
職 業
住 居
陳 述

以上のとおり録取して読み聞かせたところ間違いない旨を述べて署名押印した。

陳述者

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号2-2)

(陳述録取調書単独用)

裁判官認印

平成 年(少)第 号

家庭裁判所

陳 述 録 取 調 書

年 月 日

平成 年 月 日

場 所

裁 判 官

裁 判 所 書 記 官

家 庭 裁 判 所 調 査 官

少 年

同 席 者

陳 述 者

氏 名

年 齡

職 業

住 居

陳 述

歳(平成 年 月 日生)

以上のとおり録取して読み聞かせたところ間違いない旨を述べて署名押印した。

陳述者

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号2-3)

(陳述録取調書合議用)

裁判長認印 ㊟

平成〇〇年(少)第〇〇〇〇号

〇 〇 家庭裁判所

陳 述 録 取 調 書

年 月 日 平成〇〇年〇〇月〇〇日
場 所 〇 〇 家 庭 裁 判 所
裁 判 長 裁 判 官 〇 〇 〇 〇
裁 判 官 〇 〇 〇 〇
裁 判 官 〇 〇 〇 〇
裁 判 所 書 記 官 〇 〇 〇 〇
家 庭 裁 判 所 調 査 官 〇 〇 〇 〇
少 年 〇 〇 〇 〇
同 席 者 (保 護 者 父) 〇 〇 〇 〇

陳 述 者

氏 名 〇 〇 〇 〇
年 齡 〇〇歳(平成〇〇年〇〇月〇〇日生)
職 業 〇〇〇〇〇
住 居 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

裁 判 長

- 1 供述を強いられることはないことを説明した。
- 2 審判に付すべき事由の要旨の告知
平成〇〇年〇〇月〇〇日付け検察官作成の送致書記載の「審判に付すべき事由」を読み聞かせた。

陳 述 者

(略)

以上のとおり録取して読み聞かせたところ間違いのない旨を述べて署名押印した。

陳述者 〇 〇 〇 〇 ㊟

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

(別紙番号 3 - 1)

(観護措置決定手続陳述録取調書)

裁判官認印

平成 年 (少) 第 号

家庭裁判所

観護措置決定手続陳述録取調書

年 月 日 平成 年 月 日
場 所
裁 判 官
裁 判 所 書 記 官
家庭裁判所調査官
少 年

人定質問

氏 名

年 齡

歳 (平成 年 月 日生)

職 業

住 居

本 籍

供述を強いられることはないこと及び付添人選任権の説明

裁 判 官

供述を強いられることはないこと及び付添人を選任することができることを説明した。

審判に付すべき事由の要旨の告知及びこれについての陳述

裁 判 官

少 年

以上のとおり録取して読み聞かせたところ間違いない旨を述べて署名指印した。

少 年

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号 3 - 2)

(観護措置決定手続陳述録取調書)

裁判官認印 ㊟

平成〇〇年 (少) 第〇〇〇〇号

〇 〇 家庭裁判所

観護措置決定手続陳述録取調書

年	月	日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
場		所	〇 〇 家 庭 裁 判 所
裁	判	官	〇 〇 〇 〇
裁	判	所 書 記 官	〇 〇 〇 〇
家	庭	裁 判 所 調 査 官	〇 〇 〇 〇
少		年	〇 〇 〇 〇

人定質問

氏 名	〇 〇 〇 〇
年 齡	〇〇歳 (平成〇〇年〇〇月〇〇日生)
職 業	〇〇〇〇〇
住 居	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
本 籍	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

供述を強いられることはないこと及び付添人選任権の説明

裁 判 官

供述を強いられることはないこと及び付添人を選任することができることを説明した。

審判に付すべき事由の要旨の告知及びこれについての陳述

裁 判 官

検察官作成の送致書に引用されている司法警察員作成の送致書記載の審判に付すべき事由の要旨を告げた。

少 年

(略)

以上のとおり録取して読み聞かせたところ間違いのない旨を述べて署名指印した。

少 年 〇 〇 〇 〇 ㊟

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

(別紙番号4-1)
(告知調書合議用)

裁判長認印

令和 年(少)第 号

家庭裁判所

告知調書

年 月 日 令和 年 月 日

場 所

裁判長裁判官

裁判官

裁判官

裁判所書記官

少年

同席者

裁判長は、少年に対し、少年審判規則第24条の2の規定により、下記1から3までのとおり告知し、下記4及び5のとおり教示した。

記

- 1 罪となるべき事実 別紙のとおり
- 2 刑事訴訟法第60条第1項第 号の事由
- 3 弁護人を選任することができる旨及び貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨
- 4 弁護士、弁護士法人(弁護士・外国法事務弁護士共同法人を含む。)又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先
- 5 弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、 弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨

令和 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号4-2)
(告知調書単独用)

裁判官認印

令和 年(少)第 号

家庭裁判所

告知調書

年 月 日 令和 年 月 日
場 所
裁 判 官
裁 判 所 書 記 官
少 年
同 席 者

裁判官は、少年に対し、少年審判規則第24条の2の規定により、下記1から3までのとおり告知し、下記4及び5のとおり教示した。

記

- 1 罪となるべき事実 別紙のとおり
- 2 刑事訴訟法第60条第1項第 号の事由
- 3 弁護人を選任することができる旨及び貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨
- 4 弁護士、弁護士法人（弁護士・外国法事務弁護士共同法人を含む。）又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先
- 5 弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、 弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨

令和 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 調書の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署（記）名押印する。

(別紙番号4-3)
(告知調書合議用)

裁判長認印 ㊟

令和〇〇年(少)第〇〇〇〇号

〇〇家庭裁判所

告知調書

年	月	日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
場		所	〇〇家庭裁判所
裁判長	裁判官		〇〇〇〇
裁判官			〇〇〇〇
裁判官			〇〇〇〇
裁判所書記官			〇〇〇〇
少年	年		〇〇〇〇
同席者(保護者父)			〇〇〇〇

裁判長は、少年に対し、少年審判規則第24条の2の規定により、下記1から3までのとおり告知し、下記4及び5のとおり教示した。

記

- 1 罪となるべき事実 別紙のとおり
- 2 刑事訴訟法第60条第1項第 〇 号の事由
- 3 弁護人を選任することができる旨及び貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨
- 4 弁護士、弁護士法人(弁護士・外国法事務弁護士共同法人を含む。)又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先
- 5 弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、 〇〇 弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

裁判長認印

令和 年(少)第 号 家庭裁判所

告知調書

年 月 日 令和 年 月 日
場 所
裁判長 裁判官
裁 判 官
裁 判 官
裁判所書記官
少 年
同 席 者

裁判長は、少年に対し、少年審判規則第24条の2の規定により、下記1から3までのとおり告知し、下記4及び5のとおり教示した。

記

- 1 罪となるべき事実 別紙1のとおり。ただし、少年審判規則第24条の2第2項(□1号イ □1号ロ □2号)の規定により、個人特定事項を明らかにしない方法である別紙2の事実を告げる方法により告知した。
- 2 刑事訴訟法第60条第1項第 号の事由
- 3 弁護人を選任することができる旨及び貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨
- 4 弁護士、弁護士法人(弁護士・外国法事務弁護士共同法人を含む。)又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先
- 5 弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、 弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨

令和 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

裁判長認印 ㊟

令和〇〇年(少)第〇〇〇〇号

〇〇家庭裁判所

告知調書

年	月	日	令和〇〇年	〇〇月	〇〇日
場		所	〇〇	家庭裁判所	
裁判長	裁判官		〇	〇	〇
裁判官			〇	〇	〇
裁判官			〇	〇	〇
裁判所書記官			〇	〇	〇
少年			〇	〇	〇
同席者(保護者父)			〇	〇	〇

裁判長は、少年に対し、少年審判規則第24条の2の規定により、下記1から3までのとおり告知し、下記4及び5のとおり教示した。

記

- 1 罪となるべき事実 別紙1のとおり。ただし、少年審判規則第24条の2第2項(■1号イ □1号ロ □2号)の規定により、個人特定事項を明らかにしない方法である別紙2の事実を告げる方法により告知した。
- 2 刑事訴訟法第60条第1項第 〇 号の事由
- 3 弁護人を選任することができる旨及び貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨
- 4 弁護士、弁護士法人(弁護士・外国法事務弁護士共同法人を含む。)又は弁護士会を指定して弁護人の選任を申し出ることができる旨及びその申出先
- 5 弁護人の選任を請求するには資力申告書を提出しなければならない旨及びその資力が基準額以上であるときは、あらかじめ、〇〇 弁護士会に弁護人の選任の申出をしていなければならない旨

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

裁判所書記官 〇 〇 〇 〇 ㊟

別紙1

少年は、令和○年○月○日午後○時○分頃、○○県○○市○○町○番○号先路上において、徒歩で通行中の○○○○○（当時○○歳）に対し、・・・（以下省略）

-----改ページ-----

別紙2

少年は、令和○年○月○日午後○時○分頃、○○県○○市○○町○番○号先路上において、徒歩で通行中の_____A_____（当時○○歳）に対し、・・・（以下省略）

(別紙番号5-1)

(意見聴取書合議用(期日外・裁判所聴取用))

裁判長認印

家庭裁判所

平成 年(少)第 号 保護事件 少年

意見聴取書

年 月 日 平成 年 月 日

場 所

裁判長裁判官

裁判官

裁判官

裁判所書記官

陳述者

氏名

被害者との関係

意見の要旨

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 要旨の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号5-2)

(意見聴取書単独用(期日外・裁判所聴取用))

裁判官認印

家庭裁判所

平成 年(少)第 号 保護事件 少年

意見聴取書

年 月 日 平成 年 月 日

場 所

裁 判 官

裁 判 所 書 記 官

陳 述 者

氏 名

被害者との関係

意見の要旨

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

(注) 要旨の記載の末尾に作成年月日及び庁名を記載し、裁判所書記官が署(記)名押印する。

(別紙番号5-3)

(意見聴取書合議用(期日外・裁判所聴取用))

裁判長認印 ㊟

○ ○ 家庭裁判所

平成○○年(少)第○○○○号 ○ ○ 保護事件 少年 ○○○○

意見聴取書

年 月 日 平成○○年○○月○○日

場 所 ○ ○ 家庭裁判所

裁判長裁判官 ○ ○ ○ ○

裁判官 ○ ○ ○ ○

裁判官 ○ ○ ○ ○

裁判所書記官 ○ ○ ○ ○

陳述者

氏名 ○ ○ ○ ○

被害者との関係 ○○○○

意見の要旨

(略)

平成○○年○○月○○日

○○家庭裁判所

裁判所書記官 ○ ○ ○ ○ ㊟

(別紙番号 6 - 1)

(意見聴取書 (家庭裁判所調査官聴取用))

意見聴取書

裁判長(官)	主任調査官等

平成 年少第 号 保護事件 少年

裁判官

上記の保護事件に関し、次のとおり意見を聴取した。

平成 年 月 日

家庭裁判所 支部

家庭裁判所調査官 印

年月日 平成 年 月 日

場 所

陳述者

被害者との関係 本人 法定代理人 ()
 その他 ()

意見の要旨

(別紙番号6-2)

(意見聴取書(家庭裁判所調査官聴取用))

意見聴取書

裁判長(官)	主任調査官等
印	印

平成〇〇年少第〇〇〇〇号 〇 〇 保護事件 少年 〇〇〇〇

裁判官 〇 〇 〇 〇

上記の保護事件に関し、次のとおり意見を聴取した。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所

家庭裁判所調査官 〇 〇 〇 〇 印

年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日

場 所 〇〇家庭裁判所

陳述者 〇 〇 〇 〇

被害者との関係 本人 法定代理人 ()

その他 ()

意見の要旨

(略)

(別紙番号7-1)

(同行状(緊急))

同行状に代わるものの交付あり

(※同行状に代わるものを交付した場合、□にレを入れる。)

令和 年(少)第 号 保護事件	執行指揮印
同 行 状 (緊 急)	
少年 平成 年 月 日生 住居	
上記少年に対する頭書保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。	
有効期間 令和 年 月 日まで	
この令状は、上記期間経過後は、その執行に着手することができない。 この場合には、本令状を裁判所に返還しなければならない。	
令和 年 月 日 家庭裁判所 裁判官	
記	
(審判に付すべき事由) 別紙1記載のとおり	
(緊急同行状を発付する理由) 別紙2記載のとおり	
(適条) 少年法12条1項	
(参考)	
執行した年月日時	令和 年 月 日午前・午後 時 分
執行した場所	
執行することができなかつたときはその事由	-----
所属・官職	氏名
同行された年月日時	令和 年 月 日午前・午後 時 分 裁判所書記官

※ 裁判長又は合議体の構成員による処分の場合、適条は「少年法12条1項、2項」となる。

(別紙番号7-2)

(同行状(緊急))

同行状に代わるものの交付あり

(※同行状に代わるものを交付した場合、□にレを入れる。)

令和○年(少)第○○○号 ○○○保護事件		執行指揮印
同 行 状 (緊 急)		㊟
少年 ○ ○ ○ ○ 平成○○年○○月○○日生 住居 ○○市○○町○丁目○番○号		
上記少年に対する頭書保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。		
有効期間 <u>令和○年○○月○○日まで</u>		
この令状は、上記期間経過後は、その執行に着手することができない。 この場合には、本令状を裁判所に返還しなければならない。		
令和○年○○月○○日 ○○家庭裁判所 裁判官 ○ ○ ○ ○ ㊟		
記		
(審判に付すべき事由) 別紙1記載のとおり		
(緊急同行状を発付する理由) 別紙2記載のとおり		
(適条) 少年法12条1項		
(参考)		
1 予想される少年の立回り先 ○○県○○市○○町○丁目○番地 ○○方		
2 本同行状は、○○県○○警察署宛てに発付		
執行した年月日時	令和○年○○月○○日(午前)・午後○○時○○分	
執行した場所	○○市○○町○丁目○番○号	
執行することができなかつたときはその事由	-----	
所属・官職	○○県○○警察署司法警察員 氏名 ○ ○ ○ ○ ㊟	
同行された年月日時	令和○年○○月○○日(午前)・(午後) ○時○○分 裁判所書記官 ○ ○ ○ ○ ㊟	

※ 裁判長又は合議体の構成員による処分の場合、適条は「少年法12条1項、2項」となる。

別紙1

少年は、令和〇年〇月〇日午後〇時〇分頃、〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号先路上において、徒歩で通行中の〇〇〇〇〇（当時〇〇歳）に対し、・・・（以下省略）

-----改ページ-----

別紙2

少年は、・・・（以下省略）

(別紙番号7-3)

(同行状(緊急)に代わるもの)

令和	年(少)	第	号	保護事件
----	------	---	---	------

同行状(緊急)に代わるもの

少年 平成 年 月 日生
住居

上記少年に対する頭書保護事件について、少年を当裁判所へ同行する。

同行状の有効期間 令和 年 月 日まで

同行状発付の年月日及びこれに記名押印した裁判長(官)の氏名 欄外記載の年月日及び裁判長(官)の氏名に同じ

同行状の有効期間経過後は、その執行に着手することができない。この場合には、この書面を当裁判所に返還しなければならない。

(少年審判規則17条5項の規定により個人特定事項を明らかにしない方法により記載した審判に付すべき事由) 別紙1記載のとおり
(緊急同行状を発付する理由) 別紙2記載のとおり
(適条) 少年法12条1項

この書面は、少年審判規則17条5項の規定によるものである。

令和 年 月 日
家庭裁判所
裁判官

※ 裁判長又は合議体の構成員による処分の場合、適条は「少年法12条1項、2項」となる。

(別紙番号7-4)
(同行状(緊急)に代わるもの)

令和○年(少)第○○○号 ○○○保護事件

同行状(緊急)に代わるもの

少年 ○ ○ ○ ○ 平成○○年○○月○○日生
住居 ○○市○○町○丁目○番○号

上記少年に対する頭書保護事件について、少年を当裁判所へ同行する。

同行状の有効期間 令和○年○○月○○日まで

同行状発付の年月日及びこれに記名押印した裁判長(官)の氏名 欄外記載の年月日及び裁判長(官)の氏名に同じ

同行状の有効期間経過後は、その執行に着手することができない。この場合には、この書面を当裁判所に返還しなければならない。

(少年審判規則17条5項の規定により個人特定事項を明らかにしない方法により記載した審判に付すべき事由) 別紙1記載のとおり
(緊急同行状を発付する理由) 別紙2記載のとおり
(適条) 少年法12条1項

この書面は、少年審判規則17条5項の規定によるものである。

令和○年○月○日

○○家庭裁判所

裁判官 ○ ○ ○ ○ 印

※ 裁判長又は合議体の構成員による処分の場合、適条は「少年法12条1項、2項」となる。

別紙1

少年は、令和〇年〇月〇日午後〇時〇分頃、〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号先路上において、徒歩で通行中の A （当時〇〇歳）に対し、・・・（以下省略）

-----改ページ-----

別紙2

少年は、・・・（以下省略）